

編集後記

『臨床教育人間学』年報第13号が、ようやく発行された。この度は特集が2つも生まれ、執筆者のテーマの分散がほどよくみられたように思われる。昨年に引き続き、特集の国際会議に関する論文が講座紀要のおよそ8割を占めている。このことは、本来の講座紀要のあり方を見直し、我々の所属講座名となっている臨床教育学という学問について、改めて考え直すことの重要性を示唆しているように思われてならない。

発行までの一助を任せていただけるという貴重な経験を与えてくださった編集責任者の齋藤直子先生に、心から御礼申し上げたい。また、最後までご尽力いただいた前号編集補佐である博士後期課程3回の朝岡翔さんにも感謝申し上げたい。

2015年3月10日

京都大学大学院 教育学研究科 臨床教育学講座
博士後期課程 嵩倉美帆